

安曇野屋敷林 サポーター通信

第12号

発行日/2014年12月20日

編集・発行/屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

連絡先/安曇野ブランド担当 ☎0263-82-3131

<http://keikan-azumino.net>

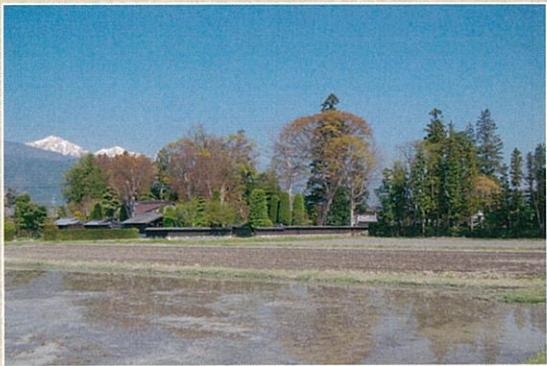
安曇野環境フェア2014

平成26年10月11～12日に第7回安曇野環境フェア2014が開催され、屋敷林見学会とパネル展示を実施しました。



屋敷林&落ち葉拾いボランティア

平成26年11月29日 三郷の松岡さんの屋敷林の落葉ひろいボランティアを計画しましたが、当日雨天のため延期
12月3日は雪となり、中止しました。20名ほどの参加者があり感謝申し上げます。



安曇野屋敷林フォーラム 2015 のご案内

今年度も安曇野屋敷林フォーラム2015を開催する予定です。
日時：平成27年3月21日（土）
場所：穂高交流学習センター みらい 多目的ホール
内容：基調講演 未定
パネルディスカッション
展示：3月13日～21日 展示ホールにて
現在 屋敷林の所有者にアンケートを行っています。

サポーター制度誕生の経緯と「家・庭」作りに思うこと

細萱 充仁

平成16年4月に県の屋敷林保全事業がスタートし、平成15年12月に松本エリアの屋敷林の保全活動が計画され、サポーターの有志がこの事業に関わる事になりました。平成20年6月に安曇野デザイン会議に景観サポーターの屋敷林グループを中心に「屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト」が設立され6年が経過されようとしております。

安曇野の屋敷林の景観は市民の共有財産と考える我々ですが現状では屋敷林の景観保全は所有者の意思に頼るしかなく、高額の為安曇野の屋敷林は徐々に消えてゆくことが危惧されております。この危惧を解消する為、市民の力で貴重な安曇野の屋敷林を守りたいと考え、平成23年10月に屋敷林サポーター制度を立ち上げました。

都市化する安曇野には生命を育む緑豊かな居住環境と子供達が健やかに育ち、市民が安心して暮らせるまち作りが求められている昨今、その為により一戸の緑の回復と保全・自然と共に存を図ってゆく必要があると考えます。マイホームを得る事は人生の中で最も高い買い物の1つですので、最近は建築中の住宅を見ますと周辺の緑化や生垣を作る家など見る事がありません。メンテナンスがかからない方向で家造りを考えていると思ってなりません。生垣を作る事、ガーデンを造ることなど身近に出来る緑化がもっと積極的に出来ないものでしょうか。「うちの庭は狭いから」という事を聞きますが、広ければ広いなりに、狭ければ狭いなりに庭は造りようがあります。「坪庭」という言葉があるように、1坪の広さでも十分に庭はれます。目の前の空間に縦横に考えをめぐらし構想を練るべきです。庭のことまで考えて建築プランをするわけではなく「家が建ちました・庭を作ります」という形が多いようですので、玄関のとり方などでもアプローチが全く余裕のない設計である事があります。設計にあたっては敷地内での建物と庭との配置などの地割りが大事だと考えます。周囲の条件や環境が違いますので、これらの事を考慮して「家・庭」の設計をされる事を望みます。屋敷林は市民の共有財産であり、緑の中で住む心の豊かさを実感し安曇野の景観に重要な緑化として市民の出来る事から始めましょう。

街道・小路が美しい屋敷

穗高耳塚



堀金扇町



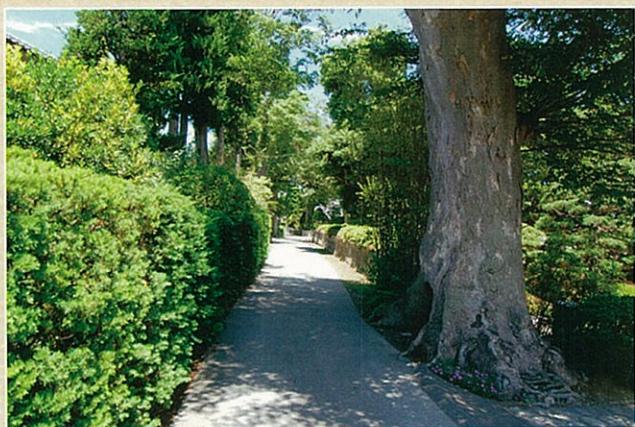
堀金小田多井



三郷住吉



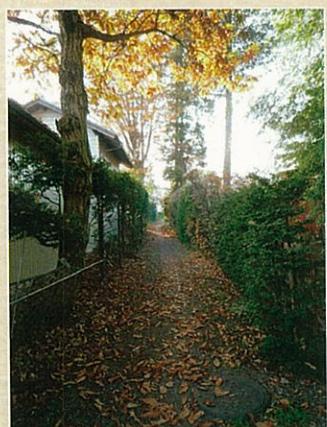
三郷上中萱



三郷下中萱



三郷上長尾



三郷野沢

